

タイヨー浸透性シーラー

(1 液型エポキシ系下地強化シーラー)

■特長

- ・脆弱な下地に深く浸透し、下地が強化されて付着性が向上します
- ・旧塗膜の上塗り（アクリル樹脂塗料）へのヘアラックはほとんどなくなります。
- ・モルタル、コンクリートの中酸化防止や、木部の吸い込み防止とアク止めになります
- ・1液のためポットライフがなく塗料が無駄になりません
- ・乾燥が速く、作業が容易です
- ・樹脂防錆の作用があり、サビ抑え効果があります
- ・吸い込み効果により、仕上げ塗料のつや引けがありません

■標準塗装仕様

塗装は刷毛、ローラー、スプレーで行い、塗装間隔は0.5～2時間としてください。

下地		下地処理	希釈率【%】	塗布量【g/m ² 】	塗装回数
素 地 面	正常なモルタル・コンクリート	なし	30	200	1回
	ALC板、ケイカル板		0	250	1～2回
	粉化したモルタル・コンクリート	十分なケレンが 必要	0	400	2回
	劣化した・屋根用スレート板		0	250	1～2回
	劣化した・セメント瓦		0	200	1回
	木部		0	150～200	1～2回
	鉄部	なし	20	200～300	1～2回
	強化コンクリート	十分なケレンが 必要	0	200	1回
旧 塗 膜	セメント系・薄、厚付け塗材		10	200	1回
	ケイ酸質系・厚付け塗材		10	200	1回
	エマルジョン系・薄、厚付け塗材		10	200	1回
	各種複層仕上げ塗材		0	200～300	1～2回
	複層塗材、伸張系		0	180～200	1～2回
	弾性単層仕上げ塗材	0	200	1～2回	

希釈および洗浄には専用シンナーをお使いください。強化コンクリート面はサンダーなどで粗面にして塗装してください。

目粗が不十分ですと剥がれます。

■使用上の注意事項

- ・塗料は透明のため、吸い込みの激しいところは少し色が変わる程度であり、塗り残す可能性があるため、順序よく塗装してください。
- ・吸い込み激しいところは、適宜塗布量を増して重ね塗りしてください。
- ・室内で使用する際は換気に注意し、火気にも十分注意してください
- ・塗布量が少ないと下地の補強と仕上げの塗材の付着性が悪くなりますので、塗布量は守ってください。

■荷姿

15kg 石油缶

